



ラ・ラ・ネット(生涯学習情報提供システム)が10月4日から新しくなります!

家庭教育サポーター養成研修会が始まりました

53号の内容

家庭教育サポーター養成研修会

視聴覚教育メディア研修 特論

南魚沼市における男女共同参画事業の取組状況

地域における子育て・家庭教育支援の中核となる人材を養成することを目的として、上越市民プラザを会場に研修が始まりました。(9月～12月、全7回) この研修では、子どもの発育に関する基礎知識の理解や、発達障害・いじめ・不登校・児童虐待について事例を通して学びます。また、様々な相談に適切に応じる資質を養うために、カウンセリング研修も行います。

9月6日(第1回)に開講式が行われ、新潟県地域家庭教育推進協議会事務局の中村副参事(県生涯学習推進課)から研修の目的を中心にあいさつがありました。午前の研修は、小グループでコミュニケーションを図るための活動を実習しました。県内各地から集まり、互いに面識がない中、緊張した面もちの受講生の皆さんでしたが、実習を通して次第になごやかになっていきました。適切なアイス



体を動かして
だんだん
笑顔に

ブレーキングが、グループ活動にいかにか密接にかかわるかを体感することができました。午後のカウンセリング研修は、基礎理論の学習でした。

受講生は、この研修の成果を地域での活動に積極的に生かしていこうと意欲的に参加された方ばかりです。実りの多い研修になることを願っています。

第3回以降の研修では、ロールプレイを中心にカウンセリング演習を行い、相手の気持ちに寄り添って話を聴く力を磨きます。

視聴覚教育メディア研修 特論(実技研修)

ただ今 研修中!

当センターで実施しているメディア研修では講義を主とする概論に続き、コンピュータの実技を行う特論を実施しています。今年度は、次のような内容です。

ウェブページの作成(1日)
ビデオ撮影の基礎とコンピュータを使ったビデオ編集(1日)

ウェブページ作成では、初心者の方々でも複数のページを作成し、それらのページにリンクを張ることを目標としています。

ウェブを作成する際、いくつかの決まりごとがあります。その一つは、ファイル名を半角英数字で付けるということです。日本語でファイル名を付けると、インターネット上で表示されない場合があるからです。

ビデオの研修では、素材になるビデオを撮影することから始めています。ビデオ教材(作品)のよしあしは、もとななるビデオに大きく左右されるからです。

よいビデオを撮影するための近道は三脚を使うことです。三脚の使用は面倒に感じると思いますが、格段に優れた映像を撮ることができます。

パソコンの性能等が向上し、コンピュータを使ったビデオ編集も簡単にできるようになりました。

最近のパソコンにはビデオ編集ソフトが付属しているので、デジタルビデオカメラがあればコンピュータとの接続も簡単です。参加された方々からは「簡単に編集できるので驚いた」「教材の作成に役立てたい」との感想が多く寄せられています。

お知らせ

広域遠隔学習推進事業
「にいがた連携公開講座」

10月の予定

第10回: 10月16日(日)
「筋力トレーニングで
高齢者の転倒予防」

第11回: 10月22日(土)
「中越地震の被害と教訓
-地盤災害の視点から-」

第12回: 10月27日(木)
「歌集と歌碑の間」

* 詳細は、ラ・ラ・ネットを
ご覧ください。



<http://www.lalanet.gr.jp/>



南魚沼市における男女共同参画事業の取組状況

南魚沼市社会教育課長
井口 光雄

1 はじめに

南魚沼市は、昨年11月六日町と大和が合併して誕生した市である。さらに本年10月には塩沢町との合併により人口は6万5千人になり、県内における市の人口規模からすると9番目ということになる。

その合併以前の旧町における男女共同参画事業への取組は、他の自治体に比べ「かなり遅れている」という状況であった。

いわゆる行政として推進に向けての事業実施がほとんど無く、わずかに市民グループにおいて話合いの場を持つ等の内容であった。

2 先進地に学ぶ

17年4月現在における県内20市の取組状況を見るに、まず行政機構においては「課・室の設置」「専任の係の配置」もしくは「女性政策担当配置」が合わせて12市にのぼる。



そんな中、本年度の2月先進地視察として柏崎市を訪問し、「行政としての推進体制」「住民における推進体制」等について指導いただいた。特に行政における取組みとしては、関係各課の計画に対する実績(評価)を明確にしていること。市民における取組みとしては、市民向けの広報、啓発事業の推進の内容が参考になった。

3 推進準備会の設置

当市の男女共同参画を推進するための啓発活動と推進組織づくりに向けての「準備委員会」を立ち上げたのが3月末。約20名の市民が出席し、今後の推進について話し合った。その内容は概ね次のとおり。

- (1) 準備会としての検討事項の確認
 - 市民および行政職員向けの啓発活動
 - 市民および行政における推進組織の設置
- (2) 準備会としての活動
 - 準備会の定期開催(毎月1回第3木曜日)
 - 県および女性財団の事業についての受入

4 啓発活動としてのシンポジウムの開催

(財)新潟県女性財団との共催による「女(ひと)と男(ひと)みんなでつくろう! ずっと住みたい南魚沼市」をテーマにしたシンポジウムを開催。当日は第1部として4人のシンポジストが育児・介護・職場・地域での男女共同参画の体験を発表。第2部ではグループトークとして第1部の体験発表をもとにグループごとの話し合いの場を設定。参加者数は約100名。この地域セミナーは今後3回の開催を計画している。

5 今後の取組みについて

- (1) 庁内向けの取組み
 - 行政職員を対象とした研修会の開催(これは事業の「にいがた女(ひと)と男(ひと)新しい波」推進事業としてアドバイザーの派遣をいただくもの)
 - 推進庁内会議組織の設置
 - 庁舎内の関係各課による推進組織の立ち上げと施策・事業の決定
- (2) 市民向けの取組み
 - 推進市民会議組織の設置
 - 市民の日常生活の中に溶け込んだ男女共同参画を推進するための組織づくりと啓発活動の展開
- (3) 男女共同参画計画の策定
 - 当面は啓発活動と併行して、市民と庁内における推進組織づくりをすすめ、18年度中に計画を策定する予定である。

いずれにせよ男女共同参画そのものが「特別のひとが特別のことをやる」という非日常的な事ではなく、身近なあらゆる生活の中において「ごく自然に対応すべき事」だということが少しずつ分かってきたこの頃である。



新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」
http://www.lalanel.gr.jp/
家庭教育・子育て電話相談「すこやかコール」
TEL:025-283-1150 FAX:025-284-6019
生涯学習相談(兼新潟県体験活動等支援センター)
TEL:025-284-6119 soudan@mail.lalanel.gr.jp

